福島県教育庁相双教育事務所 学校教育課



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
ＴＥＬ:(0244)26-1314
ＦＡＸ:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

R8 研修会 REPORT

令和８年度　小・中学校初任者研修
地区別研修 A　授業研修②

○日　時：令和８年１０月２７日（火）９：５０～１６：１５
○会　場：楢葉町立楢葉中学校（楢葉町大字北田字鐘突堂２－１）
○参加者：小学校教諭９名、中学校教諭１６名、義務教育学校教諭２名　合計２７名
○内　容：講義「授業参観の視点とワークショップ型事後研究会の方法」 授業説明「研究授業の視点」
授業参観　音楽科「曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう」
協議「ワークショップ型事後研究会の実際」
講義「授業改善の視点～PDCA サイクルを生かして～」

【研修のまとめ】

本日の講義や協議の内容を踏まえ、初任者として今後、授業実践や研修等に臨むにあたり、以下のことに留意していただきたいと思います。

○ 授業を参観する際には、**自分自身の課題をもって臨む**こと。また、**授業者の視点**と**学習者の視点**から授業を捉え、自身の授業について**具体的な改善の手立て**を探ること。

○ 授業改善のためには、自身の実践を**ＰＤＣＡサイクル**に基づいて振り返ること。その際には、「**授業改善グランドデザイン**」などの資料を参考にして、**自身の授業を継続的・客観的に見直す**こと。

研修の感想

○ 授業を観る場所によって、見えるものや聞こえてくるものが変わってくるので、自分の意図をもって参観することが大切だと気づいた。

○ どの教科でも、目標にたどり着くまでの重要なポイントが存在し、そのポイントの扱い方によって、目標への近づき具合が変わることに気が付いた。

○ 協議を通して、授業の雰囲気づくりや視覚的な提示の重要さについて学ぶとともに、問い返しや意図的な指名を行うことで、深い学びや生徒の理解への定着につながるということが分かった。

○ 子どもの姿と教師の働きかけを表裏一体で考えることができた。子どもの姿があるのは、教師の工夫や日頃の関わりが土台であると感じた。





１１月４日　発行